

2018年1月22日

福島県選出国會議員 様

きょうされん福島支部
支部長代行 和田 庄司
全国障害者問題研究会福島支部
支部長 加賀 重哉

相双地区の障がい者と支える関係者が抱える問題について
議員さんとの懇談会へのご出席のお願い

頌春の候、貴職ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素より障がい福祉分野においては格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私どもは、東日本大震災直後から、JDF 被災地障がい者支援センターふくしまを通じ、全国の障害者団体のみなさんの力を借り、様々な課題に相双地区のみなさんと共に取り組んで参りました。

ご存知のように、避難指示等の大変な状況を抱えるなか、相双地区の障がいのある人たちの暮らしや仕事は、支える福祉事業所の努力でなんとか進めてきましたが、避難による職員の退職や新たな雇用の難しさのなか、調査のような大変厳しい結果が生じ、障がいのある人たちの支えの仕組みも、ぎりぎりの状況に今、陥っています。

先日は、南相馬市に要望書を提出し、市担当者のみなさまに、障がいのある人たちやご家族の声を聴いていただきました。しかし、相双地区の自治体も大変な状況の中で努力いただいておりますが、自治体だけで解決でできることは限られ、県や国の力をあわせないと進んでいけないことがあると実感いたしております。

今、私たちは、この地域で生きていくために懸命な努力をしている障がい当事者やご家族、支える関係者が、いつ力尽きてしまうことが起きてもおかしくない厳しい状況であると強く感じています。

つきましては、下記の日程で、南相馬を中心とした障がい者、家族、支える事業所や関係者と本県選出の国會議員さんとの懇談会を開催いたします。

ぜひ本県選出の国會議員の皆様に、いまだに続く相双地区の障がい者を取りまく放置できない状況を、直接聴いていただき、多くのみなさんでこの状況を共有する中から、明日に笑顔が生まれるよう、みんなで見守りと力を出し合えればと思っております。

ぜひご出席をお願いいたします。

記

日時 2018年2月17日(土) 15時から16時45分
場所 南相馬市図書館 マルチメディアホール

(問い合わせ先 きょうされん福島支部 和田庄司 携帯 090-3648-1470)